



瑠璃色の女の夢

hakungu fullnerson

adult
only!

こちら第六師団！
オリオンは中枢部を破壊され
システムダウン！
これ以上の戦闘は不可能！

このままでは
全滅してしまいます！

ぼっ
ぼりりすサマツ！

皆を見捨てる
わけには……

あらそう？
じゃあたっぷりと
思い知るがいいわ

ひっ……
卑怯者っ！
誰が降参なんて

往生際の悪い子ね
そろそろ降参したら
どう？

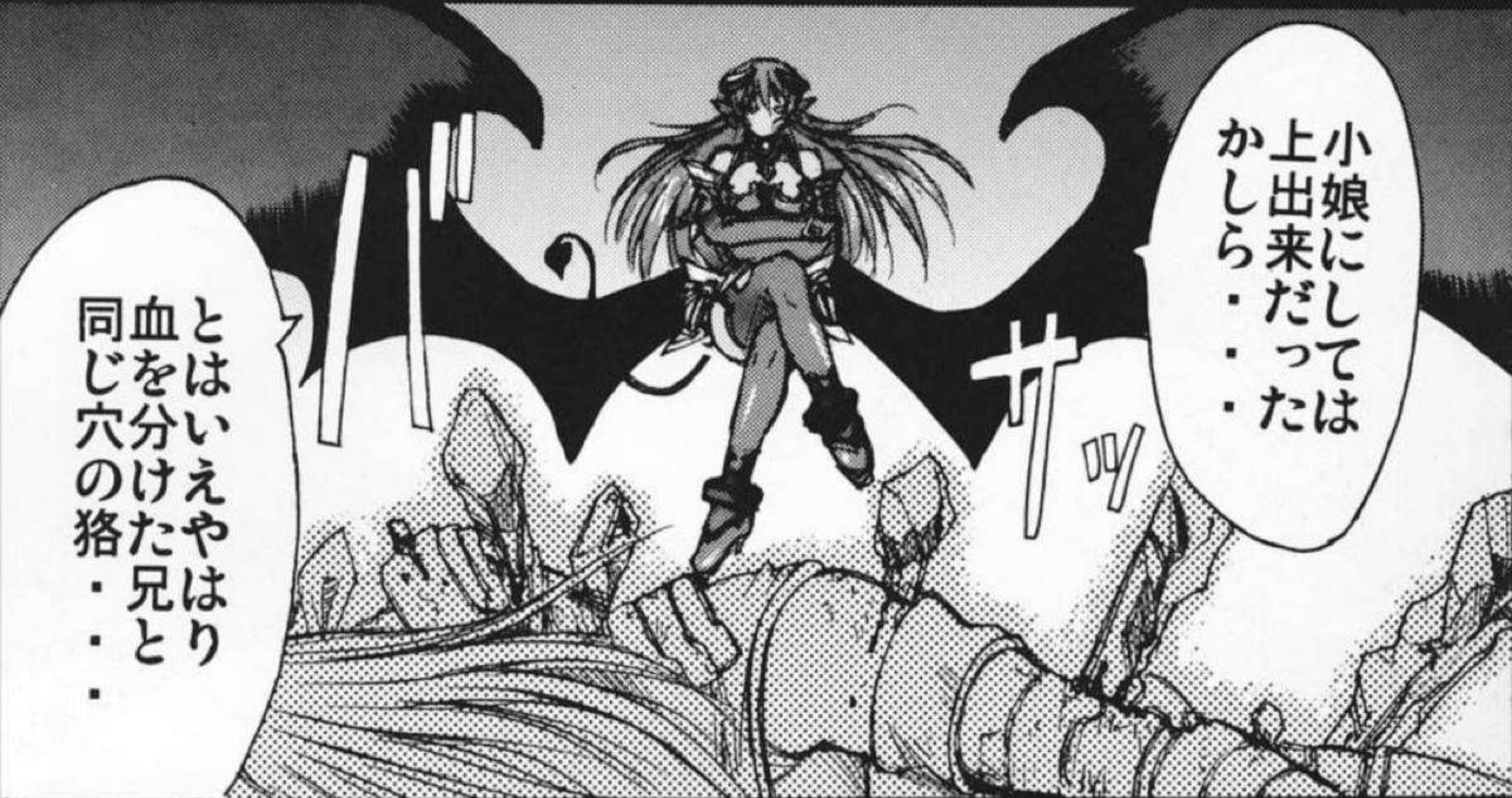
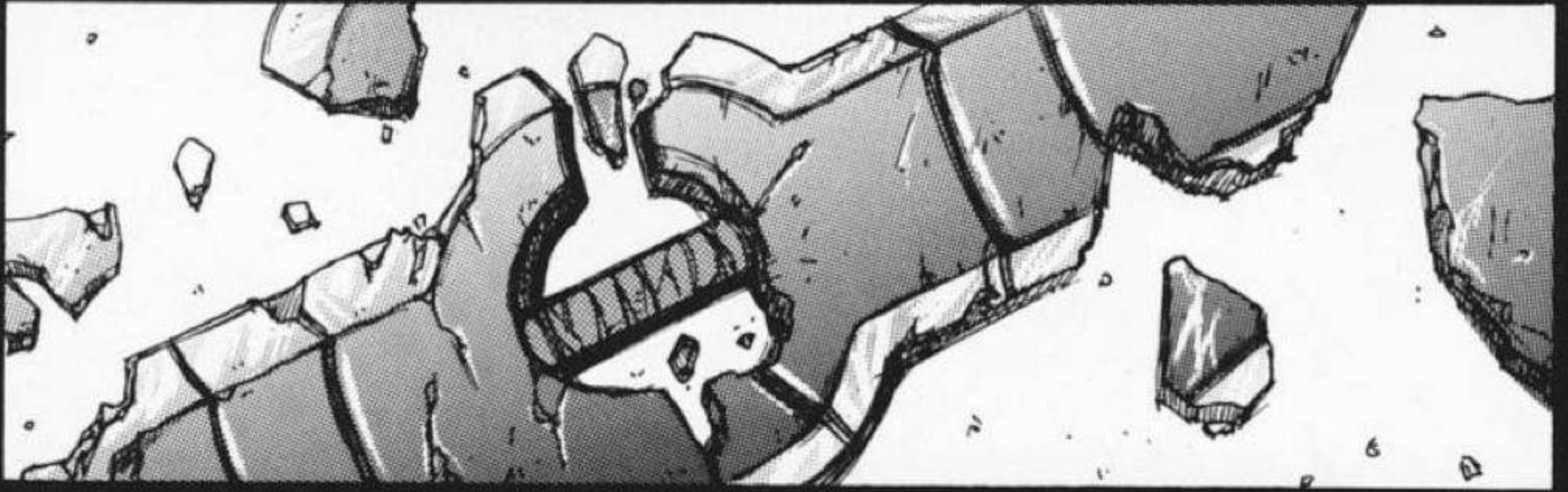
皇魔族の力を――

氷月
刃禍
！





くっ...
これじゃ...
防げないっ!!



小娘にだしては
上出来だっ
かしら・た

とはいえやはり
血を分けた兄と
同じ穴の貉・



安心なさい
はまだ殺したりは
しないわ

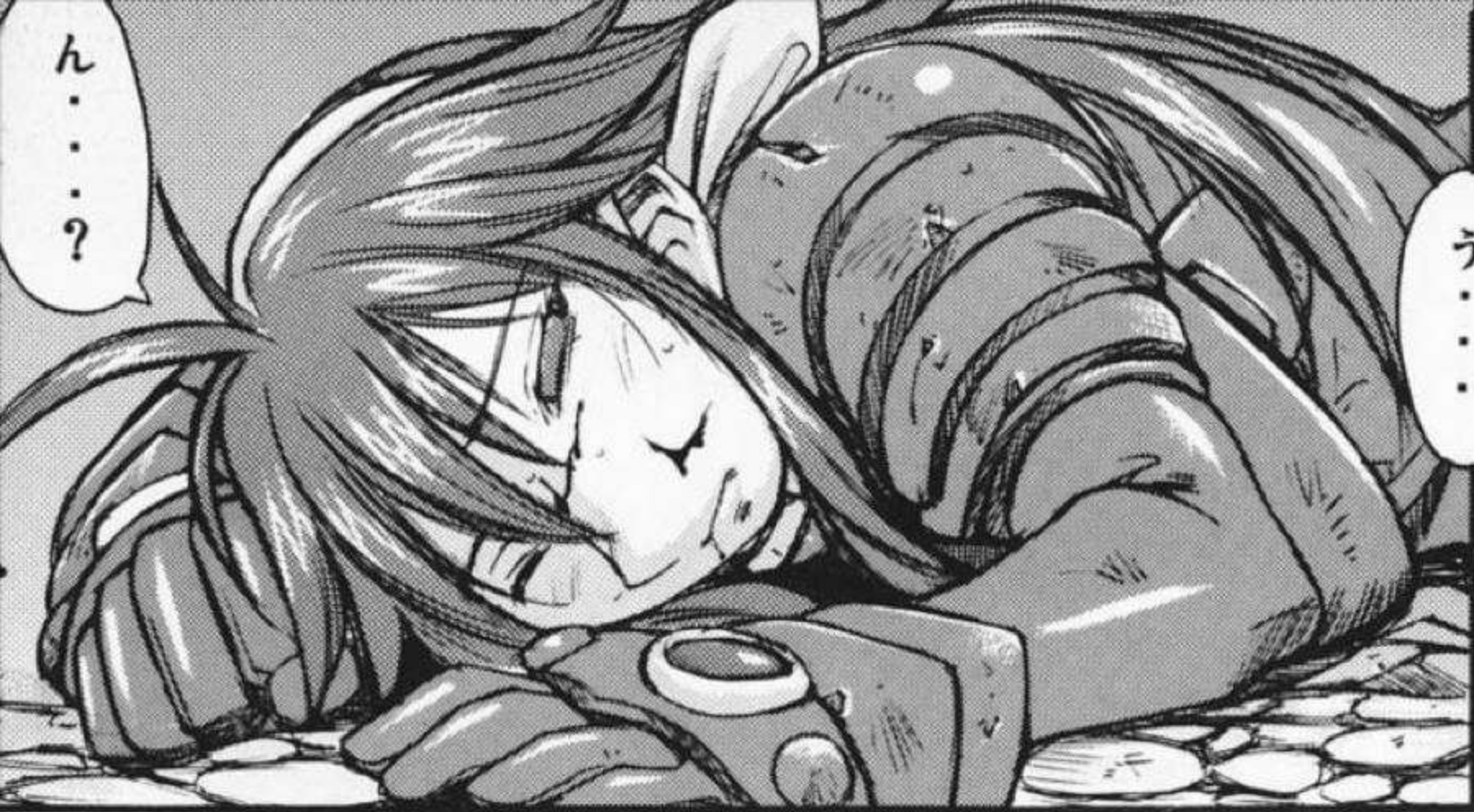
お楽しみは
これから♪

瑠璃色の女の夢





b y 黒龍眼



う...



やっと目を覚ましたようね

鎧羅族のお嬢さんー



お前は...!

うっ?!

よくも鎧羅の軍隊を畏に...!

よしなさい
抵抗したところ
あなたに勝ち目
はないわ

ああっ！

しる

わろ
わろ

鎧羅が中央大陸に兵士を
派遣することは前もって
内通者からの情報は
得ていたもの—

しかしまだまだ
兵を動かすには
経験不足だわ

行方不明の兄と
違ってあなたは
優しすぎる...

兄さん...？

兄さんは
どこに!?

まさかオリオンまで
復活させていたとはね

呼びかけても無駄よ
残念だけど
今のこの男には
私の声しか聞こえないの

皇帝陛下の秘密を探りに
単身中央大陸に潜伏
しようなんて
無謀なことを……

そんな……

あなたたちがもう少し
早く侵攻してくれれば
彼も助かったけど
かもしれないけど

さあ……
私の前であなたの愛する
妹を可愛がってあげなさい

えっ……

兄さん……
私の言うことが
わからないの？

いつ!?

にっ
兄さん
を
……
……
??

ガ
ッ

ひっ……
いやああああっ!!!



ふふふ・・・
見かけによらず
小ぶりでも引き締まった
オツパイなのね

くっ・・・

どうして・・・
こんな恥ずかしい
真似を・・・

まだ男を知らない
無垢な体を実の兄に
弄られるのよ

そんな・・・
私・・・いやだよ
こんな・・・

あんっ・・・

ムニェ



ア! ちやう

あんち

うっ..

んんん

んんん

んんん

んんん

あ..

ん..

んん

んん

あめ..

あ..

あ..

あ..

んんん

あ..

あ..



どうしたの？
股の方から
いやらしいお汁が
出てるじゃないの

おまじゆ
ちほま

ちっ・・・違っのっ
兄さんが・・・
つよく・・・ひっばる
からあ・・・

きゅん

ぎゅん



えっ？

うそっ・・・

みちゅ

みちゅ

びん

だめええっ！

ああっ……
見ないでっ……

ふふふ……
お兄さんに見られて
少し多めに濡れちゃったの
かしら？

これからもっと
たっぷりとお汁を
溢れさせてあげるの

丁寧じじくくりと
処女マンコを
ほぐしておあげなさい





ちやうど

あいつ

れろ
れろ
れろ

あいつ...?!

あ...い...さ...あ...
だ...め...ん...な...の...お...こ...ん...つ...
じ...つ...ち...や

ちやうど

あ

あ

ヒッ?!

あ



ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

んぶつ

グイッ

ちゅ

ちゅ

おごつ

ズッ

おえつ

んぐろっ?!

すごい
実の妹なのに容赦なく
チンポ突っ込んで...

ピチャ

ピチャ

おえっ

んぐっ

ズッ

ズッ

ズッ

うぶおっ

ズッ

ぐっ

頭に血が上るだけじゃなくて
胃液が鼻に入ったりしたら
苦しいわよ



ふぶぶ...
ぶぶぶ...!

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

うっ...
うお...
うお...
うお...
うお...!



はあ...

ふ...

ハ
ハ
ハ
ハ
ハ

ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

はあ...

今度はあなたのチンポで
妹の処女を奪ってあげなさい

大丈夫よ
この娘はまだ
慣れていないだけ
だから

ううっ

う……

いやっ……
兄さん……

???



あ……うめめめめ
いつ……
いたいよめめ

いやあなのつ
つ!

ホッ……

ホッ……

あ……

フ。

フ。

ヌ

これ以上
はっ……

フ。

さっ……
裂けちゃう……

ひひひ



はあはあ……
すっごおい……

血を分けた兄が
一心不乱に妹の処女マンコに
チンポを出し入れして……

見てるだけで
興奮してくるっ……

いあっ

んん

ズン

ズン

ズン

うん



ああっ

んあっ

……いさん

ズッ
ズッ

いあっ

ああっ

このままいけば
妹の方もすんなりと
思いのままに……

ふふふ……

ズッ

これはこれ、魔将軍閣下は捕えられた男女とお戯れですか？

ん？

フツッ！
サッサと
皇帝陛下に
お見せすに
よ見せすに
いもすに
ものをば

力を以って
ねじ伏せるのではなく
最高の恥辱を与えて
飼い慣らす……

これだから野蛮な男は
嫌になるわ……

せっかくの客人を
すぐに陛下に引き渡す
のは面白くないでしょ？

そうか

まあよかろう
だが・・・

?

千ヤツ...

そんなもてなしで
客人は満足しているのか？

ひっ・・・!!
何を・・・?!

斬

中途半端なもてなしで
客人の機嫌を損ねては
陛下に申し訳が立たぬ
であろう？

ポーンマスター!!

ムニョ

冥府に彷徨いし
戦士の魂よ・・・
我が名において
今ここに召喚せり!

なっ・・・
何・・・?

ムニョムニョ・・・



この者達は
先の戦でお前に殺された
鎧羅族の兵士の屍・・・

鎧羅の長ともども
この者たちもお前の手で
客としてもてなして
やっってはどうかだ？

ひっ・・・
そんな・・・

屍たちよ！
皇魔族随一の美女が
うぬらを愉しませて
くれようぞ！

クィ



くっ……
そんな手で……
私の胸に……

あっ……

おめ……る

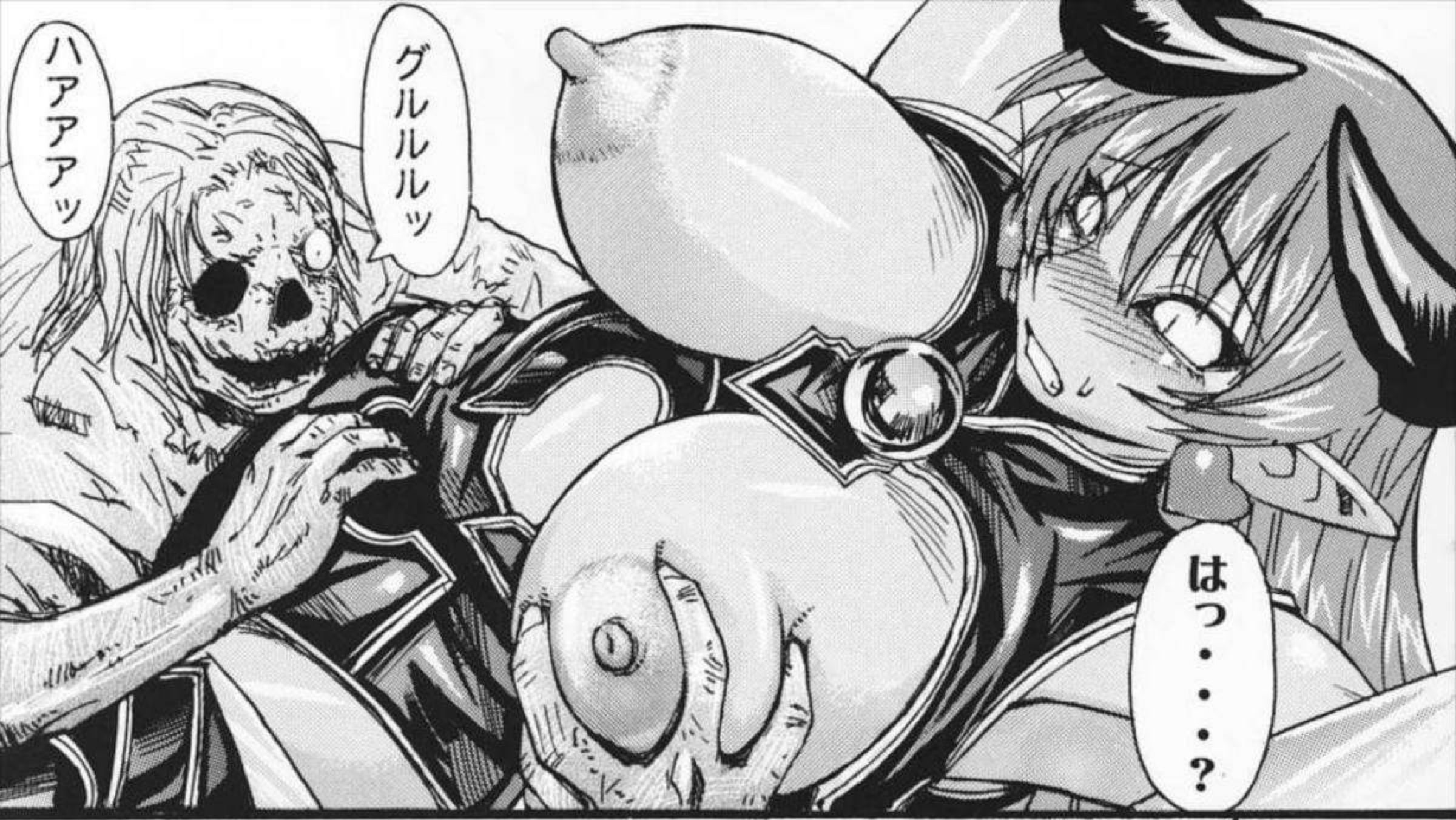
ムニ

ムニ

ムニ

もみゆ





ハアアアッ

グルルルッ

はっ……？



嘘ッ……？!



だめっ……
そこだけは……

触るな……ッ

いやあっ!

れっ
れっ
れっ



んんん

ゴゴゴ

んんんんん

くあああつ……！
そこは……
甜めちや……

んんん

んんん

んんん

んんん

ああつ

どうした？
宴は賑やかな方が
よいだろう？

あぁっ

こんなの……

ムムムム

ムムムム

いやあぁっ

ならば
これで……

この俺様のもてなしが
気に入らぬとでも？

はぁ♡

く

キリッ



ハッハッハッ!
まだ半分も入って
おらぬぞ!

このまま奥まで
ねじ込んだら
どうなるかな!?

オコッ



とぼけたことを
ぬかす奴め

ズゴッ

わざわざ四天王が
こんな真似を・・・？



ど...
ど...
ど...
ど...



それをお前のような
女狐ふぜいが姑息な真似なぞ
使って俺を出し抜こうと
するなどということは...

もともと「トイツ」らは
俺が仕留めよと
陛下から仰せつかったのだ



絶対に許されぬ
ことなのだッ!!

ギョウ

ギョウ

それをお前自身の体に
直接教えてくれるわ!

鎧羅の小娘ともども
思い知るがよい！





があ

ゴッ
ゴッ
ゴッ

んぐんぐ!

はあ

あ

ふぐあ

あえ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ひびく

あーっ

こっつ...こんなあつ
太すぎて...
裂けそうなのにつ

あーっ

あーっ

あーっ

www...

オマンコの中に
じんじん熱いのが
暴れまわるのあつ...

陸の奥まで
えぐられてるっつ!!



ズ
ズ

ズ
ズ

はあ

はあ
はあ
はあ

はあひいっ……
チンポあつ
チンポあつ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ



あああああっ・・・
腔^{なか}内にいっぱいっ
で
射精てるんっっ!!





んはあつ!

ヌ

ホ



フン

ううううう...

所詮は女
他愛もない奴らよ

はあはあつ...
あつい精子いっぱい



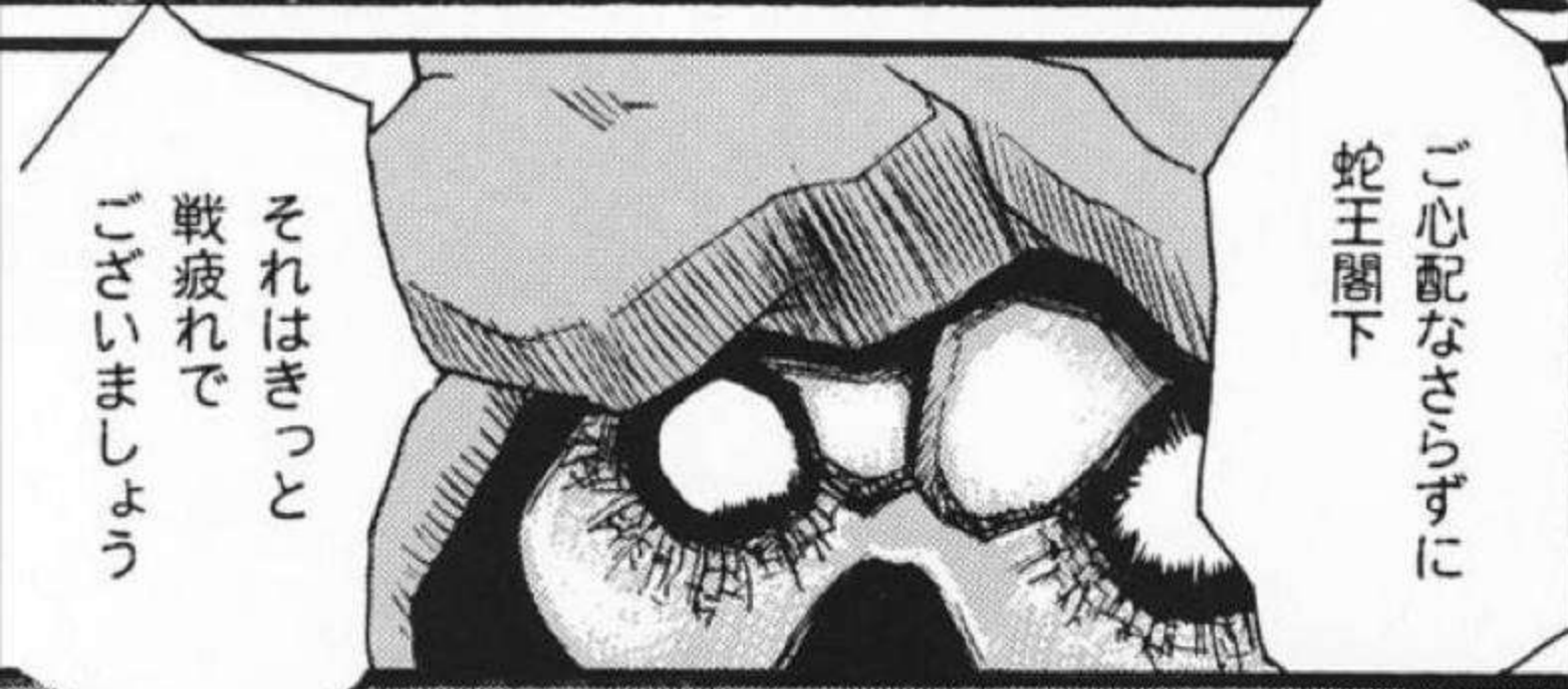
この小娘……
鎧羅の男……
前にどこかで……

何か……
頭の中で……



うっ……？

なんだ……？
この感覚は……



ご心配なさらずに
蛇王閣下

それはきつと
戦疲れで
ごさいましょう



そうか……

どうも気分が優れぬ
……後の事は
任せたぞ

御意……



……

……蛇王の奴め
鎧羅の小娘と男の顔を見て
何か思い出しそうに
なったか……

あ

はあ

んん

ああ

まあよい……
どのみち
記憶が戻ったところで
今更何も出来まい……

さて……
この小娘には魔將軍ともども
みっちり調教して陛下に
奉仕してもらおうかのう
フヒヨヒヨヒヨ……

あとがき

ふう・・・

まさかあとがきを書く時間が無くなりそうになるまで作業が手間取るとは予想もしてませんでしたよ。

だから今現在書こうとしていたことがうまく頭の中から出てきませんよ。

というわけで今回は神置の車だったわけですがいかがでしたでしょうか。

この車が無事印刷されていればおそらく開いた人の印象は「黒ッ！」という感じなんじゃないでしょうか。

いやもう力の限りトーン貼ったさ。久々に。

賢明なる読者諸氏はすでにお気づきかと思いますが過去に同じような車をいちど見てますね？

そうです。ずいぶん前に出したマーニャ車で真っ黒な車を見たと思います。

もうあれから結構経ちますが、暇元過ぎれば何とやらでちょっと頑張っ貼ってみようかなと思ったからさあ大変。

よもやこれほどまでにトーンの処理する枚数が増えるとは・・・

当初まったく予想していなかったことなんですけど間に色のあるアスタロットはともかく、ポラリスの踏も意外にトーンを食う色でして、気がつくや殆どの物を数種類の階調に分けなければ

何が何色やら判らなくなる有様になってしまいました。

それに加えてデザインなどは一枚絵しか参考に出来るオフィシャル資料がない上、ネット上で探せる他の絵描きさんの

絵も限られたものしかなく、描き始めた当初現物を所有していなかったもので結局のところ

公式HPの絵を全て印刷して紙に起こしなおし、再構築、ということになりました。

まあそんなこんなですから相当立体的に怪しかったりなんじゃこりゃ？というようなお見苦しいところも

あるかと思いますが、ご自愛いただきます。て言うか勘弁してください(泣)

今回は当初アスタロットオンリーで行こうかなと思ってたんですが自分の中ではライバルのシオンがいまいち琴線に

触れるキャラではなかった上、同じくらいお気に入りポラリスをどうにか絡められないものが、

そして相手もなんかよくわからない適当なサオ師よりも同じ世界から・・・

なんてことをいろいろ考えたらニースホッグとボーンマスターが出てきたり、なんかオリオンまで描く羽目に・・・

まあおおよそ自分の詰め込みたい要素は7割入られたんでそれなりに読み捲えはあると思います。

そう思いたいです・・・

描いていると愛着の湧く物で、ニースホッグは結構お気に入りです。

声は大塚明夫あたりでどうでしょう。ちなみにポラリスは桑島法子、アスタロットは伊藤静あたりでどうですか。

今の子供に神置がどの程度浸透しているか知りませんが、自分の子供のころはビックリマン真っ只中でしたからねえ。

まあ自分は結構ヒネてたというか競合商品も多かった時代でしたから、あっぱれ大將軍、ネクロスの要塞、

秘伝忍法帳、ガムラツイストといろいろと広く浅く買っていた気がします。

他にもSDガンダム黎明期直撃ですからガシャポンやらカードダス、末期になってはいるものの

まだまだ現役のキンケシ、果てはコスモスをはじめとするとさくさにまぎれてどこのメーカーかわからない

消しゴム人形やら抱まされてそれで遊んでいたものでした。

自分の場合コレクション性云々というよりはむしろ何が出るか判らないことへのドキドキを楽しみにしていたというか

駄菓子屋という子供の遊技場のギャンブルの一つとしてそれを買っていた気がします。

今の子供はどこで神置のカードを買っているのか知りませんが、大型量販店などが主流になってきた現在

個人経営の駄菓子屋やおもちゃ屋が軒並み店を閉める現状ですから自分のような体験は

もはや過去の遺物なのかもしれませんね。

さて、恒例の近況報告を。
毎回毎回ここで単行本単行本と急仏のように書いた甲斐があったのか
おかげさまで11月に初単行本「推定囃女」が出せました。
応援していただいております読者様方にはこの場を借りて改めて御礼申し上げます。
とはいえ今回の単行本は自分の中ではもうずいぶん前に描いたものが殆どでして、
あれを自分の全てだと思われるのは正直本意ではありません。
願わくはこれが次につながるような本であって欲しいと思うのですが、反省する点多々あり
また一つ新しい課題が出来たという感じです。
すでにお買い上げになられた方もいらっしゃるかと思いますが、
まだの方はぜひどうぞ書店にてお求めください。

次は例の単にしようかなあ・・・などとまたあてにもならない展望をふちまけますが
今回の本が必要以上に憂なところに力が入りすぎてしまっているのもう
もう少しおきらくな単作りをしなければと思いました。
あとは今回の協賛デジタル仕上げの方がよかったのかなあ・・・そろそろ真剣にデジタル作業のノウハウを
蓄積せねばならんかと切実に感じました。
問題は予算とタイミング・・・難しいところです。

今のところ新しいもので大ハマリというキャラがあんまりないんで、
今回の本が好評ならまたアスタロットの単作りたいですね。
こここのところふたなりものがご無沙汰なんて欄を見てまた例が描きたいです。
お楽しみに。

また今年もあわただしい年末となりまして、一年の経つのはつくづく早いものだと日々思います。
今年も単行本も出ましたし引越しもしましたのでいろいろと変動のある年になりました。
自分にとっても皆様の方にとっても
来年もさらに実入りの多い一年になりますようお願いしつつ
この本を締めくりたいと思います。

それではまた。

奥付

2005年12月30日

発行

煉乳フルネルソン

印刷

ユニスリント様

2005年12月30日 黒陰殿

禁無断転載

Studio Cambria (bakunyu fullnerison homepage)

<http://studio-cambria.sakura.ne.jp/>

mail to: aap47400@hkg.odn.ne.jp

hakunyu fullnerzon

禁無断転載